

**第503回 10月25日開催
出席委員（50音順・敬称略）**

荒巻 裕	伊藤 芳明
大村 英昭	木下 明美
倉光 弘己	黒田 勇
櫻井 美幸	森 輝彦

◆ 審議事項

「ネット番組について」

毎日放送の第503回番組審議会は10月25日大阪市北区の本社で開かれ、JNN系列の全国ネット番組について意見交換しました。

委員の主な意見

- * 「まんが日本昔ばなし」の復活を歓迎する。この番組は民話の持つすばらしさ、日本人の持つ人や自然に対する思いやり、優しさや、時には残酷さなどを上手に表現しており、今の子供たちにぜひ見てほしい。
- * 「今は環境では視聴率がとれません」。この言葉がテレビ界の状況をあらわしている。視聴者に受けるか受けないかということに関心が行ってしまっている。テレビ全体として、番組のパターンが同じ。個性的な、違う視点からの発言、問題提起が欲しい。
- * 衆院選での国民の投票行動を見ると、小泉劇場のテレビ画面でのイメージ、インパクトが選挙結果に大いに影響を与えたと思う。政治も選挙もワイドショー化している。報道としてのメディアはどうあるべきかという基本に戻る必要がある。
- * 「朝ズバッ！」のみのもんたさんは、面白い。大向こう受けをするにはどうしたらいいか、するどく察知してコメントしている。貴乃花親方へのインタビューは、つつ込み方が秀逸だった。
- * ネット番組とローカル番組の差を一言で言うとライブ感、アクティブ感、ローカルの方が元気。東京のどのテレビ局もナショナルのイメージがつかめなくなっている。ナショナルをこう表現したらいいという感覚が消えている。唯一ワイドショーがナショナルを作っている。ワイドショー的ナショナルでない何かを。

- * 準キー局のMBSは自社制作の番組がいろいろあるが、地方局はネット番組への依存度が高い。それだけにTBSから流れてくる番組が地域で受容されないと問題

◆テレビ番組の日本、イタリア、英国比較

イタリア、英国の放送事情やテレビ番組の特徴、日本のテレビ番組との比較などについて黒田委員から報告がありました。

◆「VOICE」の「喫茶店廃業報道」のBRC決定について

BRC(放送と人権等権利に関する委員会)は、10月18日、「VOICE」の「喫茶店廃業報道」について、委員会決定を出しましたが、この決定について広報室長と報道局長が説明しました。